

に活かす機会がないという指摘が少なくなかった。自由記載から判断すると、とくに「新規事業提案書」の活用感がないものと考えられ、演習課題（獲得目標レベル）の再検討を図り次年度から実施する。また、受講者間のネットワークを業務に活かす機会が少ないことについては、年数の経過とともに受講者の業務内容に変化が生じれば、機能低下は避けられない。メーリングリストの管理方法の検討など技術的工夫を考える一方、やや長期的な対応となるがフォローアップのための遠隔研修の活用などを検討する。

## ② 長期的課題

「住まいと健康」と「建築物衛生」の統合開催、あるいは分離の場合のローテーションについては、住居に関する保健師と環境衛生監視員の共修、連携の必要性と関連する。今回の回答・意見も参考にしながら、検討することとしたい。

## (7) 建築物衛生研修

(H19年6月4日～6月22日の3週間、定員20名、受講者22名・派遣元20自治体、回答率はA版（共通調査票・派遣元回答）が75%、A'版（共通調査票・受講者回答）が73%、B版（個別調査票・受講者回答）で59%）

### 1. 結果と考察

#### ① 共通調査票（A版およびA'版）

派遣元による今後の派遣意向（“是非派遣したい”53%，“派遣したい”47%）、受講者の受講勧奨意向（“強く勧めたい”31%，“勧めたい”69%）については、本コースに対しての評価を得たものと考えられる。

自由記載欄の回答からは、“幅広く専門的な知識と技術を習得できるため、実務現場で、種々の視点から相談に対応でき、適切に指導を行える。また、同じ職務の者への適切なアドバイスができる。”や、“特定建築物等の立入検査指導において、最新の情報等を提供することで高い評価を得ている。”など、本研修により専門知識および最新情報を習得することが日常の業務に有効であることが窺え、以上の評価の主な要因と考えられる。

一方、「本研修は役に立っているか」との設問については、約3割が“役に立っていない”または“全く役に立っていない”と回答した。これらはすべて、“異動になった”ためであり、“活かす機会がない”結果である。この結果は、「建築物衛生」が他の業務と異なる専門的知識を必要としていることおよびその業務が環境衛生行政の幅広い分野の一つとして位置づけられている現状を反映したものであり、個人レベルの研修成果を超えた組織的蓄積と継承が必要であることを示唆している。

## ② B版（個別調査票）

受講者の4割近くが異動によって「建築物衛生」に関する業務を担当していなかった。異動が避けられないとすれば、伝達講習等による知識や技術の組織的な蓄積が重要になるが、伝達講習会など資料と口頭による説明は6割以上でなされていた。本研修での全体的な学習成果の業務への活用状況では“活かしている”が約8割であり、異動者を含めた回答であることから考えれば、高い評価を得たものといえよう。

また、関連する自由記載によると、“日々の日常業務における指導等に役立っている。”保健所が実施する講習会への活用が多数を占める一方で、“他の業務にも活用している”といった公衆衛生活動についての普遍的な判断や行動への活用を評価するものも見受けられた。ただし、環境監視に不可欠な設備知識の不足や監視指導や相談業務の事例紹介の充実に対する要望が少なくなく、対応が必要である。

「建築物衛生」と「住まいと健康」の両研修では、これまで前者を3年に1回、後者を3年に2回のローテーションで開催してきた。この開催方法についての意見を問うたところ、“現状でよい”23%、“両研修の統合による毎年開催”とすべきとの回答が30%、“それぞれを隔年開催”が38%を占めた。

## 2. 課題と今後の方針

### ① 短期的課題

所管範囲内に特定建築物が非常に少ない地域が少なくない。このような日々の監視業務の経験が少ない現状に加え、前記のアンケートの回答に示されているように、異動などが数年単位で行われる。これらのことを勘案して、下記の対応が必要であると思われる。

- i. カリキュラム構成の見直し：空調・給排水設備の基礎知識、設備図面の見方、事例紹介の充実。
- ii. 演習に、受講生に日々の仕事で悩んでいる事例を事前準備してもらい、受講生と講師が一体となってディスカッションの実施。
- iii. 東京都が実際に実施している立ち入り検査参加等による監視業務の実体験にメンバーとして加え、監視業務を経験。
- iv. 伝達講習等への支援。

### ② 長期的課題

「建築物衛生」と「住まいと健康」の統合開催、あるいは分離の場合のローテーションについては、環境衛生監視員と保健師の共修、連携の必要性と関連する。今回の回答・意見も参考にしながら、検討することとしたい。